

# 羊と共に多世代が地域の資源を活かす場の創生

研究代表者：金藤 克也  
(一般社団法人さとうみファーム 代表理事)

実施者・協力者： 宮城大学食産学部・事業構想学部・帝京科学大学・生命環境学部

実施地域： 宮城県本吉郡南三陸町歌津字町向

## 背景

- ・南三陸町は、東日本大震災被災地である
- ・8割の家屋・インフラを失う
- ・過疎高齢化がもともと課題であった
- ・産業の中心が1次産業(漁業)であり、職の自由度が低い

## プロジェクトが目指すもの

### <目標>

- ①高齢者から子どもまで参画できる職場・コミュニティーの創出
- ②地域資源を活用した持続可能な産業の創出(わかめ・羊毛)
- ③羊牧場をモデルとした持続可能な多世代共創社会システムの構築及びスキームの作成

### <主な評価指標>

- ①プロジェクトへの参画人数
- ②雇用創出・事業収益
- ③他地区への応用・展開



### <明らかにしたいこと>

- ・本提案を実施する地域社会における多世代共創とは？
- ・多世代が自然に集まり、無理なく参画できる場とは？

### <成果の活用イメージ>

- ・他地域での展開・実装

## プロジェクトにおける持続可能性、多世代共創

- ・地域資源を活用した持続可能な産業の創出
- ・子どもから、高齢者までが無理なく参画できる場の創出



- ・行政との連携  
今後プロジェクトを進めていくうえで、行政との連携が重要である。
- ・一般の住民に参画してもらうには、単発のイベントだけではなく、定期的なワークショップが有効である。
- ・内職の需要は、育児世代の家庭にある。

